

部下の態度や言動に振り回されない！成長支援できる面接のポイント
修羅場のコミュニケーションスキル

～ご好評につき第3弾！あるあるケースから考える医療現場の離職防止戦略～

—講師—

オフィスJOC (Japan Okan Consultant) 代表 岡山 ミサ子 氏
(社医)名古屋記念財団 ホスピエグループ腎透析事業部 看護系顧問

日時 2024年12月10日(火) 午後2時～5時
受講方法 ライブ配信/アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)

[重点講義内容]

部下の目標面接やキャリア面接を計画的にしようとしても、現場では修羅場の場面は突然に起きます。単なる人間関係のイザコザ対応と捉えるのではなく、そんな場面だからこそ、時間と場所を変えて、部下の成長支援のための面接をしましょう。部下の成長支援をする場合、部下の態度や言動・行動に振り回されてしまわないように、自分を守り、毅然とした態度で接することが大事です。管理者が振り回されやすい苦手な4つのケースに絞って、修羅場のコミュニケーションスキルを実践してお見せします。ケースごとの解決ポイントも紹介します。是非修羅場のコミュニケーションスキルを身につけてください。

1. 対話型面接の極意

2. ケースで考える修羅場のコミュニケーションスキル

- <ケース1>不機嫌で威圧的な態度のベテランスタッフ
- <ケース2>泣いて過去のいじめ体験と先輩との関係を語る新人
- <ケース3>慣れ親しい口調で勤務変更を依頼するベテランスタッフ
- <ケース4>スタッフ間のいざこざに板挟みになって助けを求める主任

3. 自分を守りながら部下の成長支援をする面接

4. 質疑応答

<これまでのシリーズはセミナーオンデマンドとしてご案内中です>

【1】医療現場での人間関係・職場環境の問題をスッキリ解決！修羅場のコミュニケーションスキル

～日々手探りで対応されているリーダーへ、離職防止に繋がる元気な組織づくりのポイントを解説～

<https://www.ssk21.co.jp/O0000103.php?gpage=23491> (2023年10月24日収録)

【2】それぞれの思い、価値観、信念の違いを肯定しあう“対話”が離職防止戦略に 修羅場のコミュニケーションスキル

～波風・対立があってもOK！協働して合意形成する新しいチームづくり～

<https://www.ssk21.co.jp/O0000103.php?gpage=24092> (2024年3月8日収録)

PROFILE 岡山 ミサ子(おかやま みさこ)氏

1980年 北里相模原高等看護学院卒業。1980年 相模台病院勤務。1981年 橋本クリニック勤務。
1982年 新生会第一病院勤務。2000年 新生会第一病院 看護部長。2009年 放送大学教養学部卒業(発達と教育専攻)。
2013年 名古屋記念財団 ホスピエグループ腎透析事業部 統括看護部長。2015年 青山学院大学ワークショップデザイナー修了。
2016年 一般財団法人生涯学習開発団認定、認定ワークショップデザイナー取得。
2019年 オフィスJOC (Japan Okan Consultant) 代表/名古屋記念財団 ホスピエグループ腎透析事業部看護系顧問。
2022年 令和4年春の叙勲「瑞宝単光章」受章。2023年 一宮研伸大学大学院 看護マネジメント学(非常勤講師)。

【社会的活動】

日本サイコネフロジー学会 監事/認定NPO法人ビフレンダーズあいち自殺防止センター 副理事長/愛知県看護管理研究会 元会長

【主な著書】・リーダーのための育み合う人間力(医学書院、2020) ・がんばらなくてもいいんだよ(メディカ出版、2021)

・ケアする人をケアする本(gene、2020)

・日総研 ナース・マネージャー(修羅場のコミュニケーションスキル)連載中 2023

